

MUTOH

第67期

中間(第2四半期)報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



MUTOHホールディングス株式会社



証券コード 7999

■株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに、第67期中間（第2四半期）報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

■事業の経過および成果のご説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、欧米地域においては、ギリシャの債務不履行問題や難民問題など一部に不透明感はあるものの、米国を中心に全般的に穏やかな景気回復が持続しております。一方、中国をはじめとするアジア新興国においては、設備投資の縮小が継続し景気減速傾向が一段と加速しており、世界経済は、世界的株安を招くなど不安定な状態で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、継続して将来的な収益力向上を目的に、経営基盤と製品開発の強化を推進してまいりました。

主力製品である大判インクジェットプリンタ事業では、部品不具合により上半期に予定していた新製品の発売が一部遅れてはいるものの、メディアごとに必要な調整作業を軽減するMUTOH独自の革新的印刷自動化技術の「ドロップマスター技術」を搭載した新製品『ValueJet シリーズ』“X”モデル6機種の販売を開始し、製品力の強化と販売拡大を推進してまいりました。

3Dプリンタ事業では、7月にアーク溶接式金属3Dプリンタ『Value Arc MA5000-S1』の販売を開始し、9月には300℃の超高温に耐える新開発の「タフヘッド」を搭載したエンジニアリングプラスチック対応の大型樹脂溶解積層式3Dプリンタ『Value 3D Resinoid (レジノイド) MR-5000』の販売を開始いたしました。また、10月には短時間で高画質な三次元測定が可能な全身撮影用3Dスキャナー『MUTOH 3D PhotoScan System MS-2000N』を発表いたしました。MUTOHグループは、今後も新たな製品の提案を続け、国内3Dプリンタメーカーのパイオニアとしてブランド力を強化し、新たなニーズと市場の開拓に積極的に取り組み事業拡大を推進してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は113億75百万円（前年同期比0.8%減）となり、営業利益は2億64百万円（前年同期比69.9%減）、経常利益は2億37百万円（前年同期比74.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（前年同期は24億43百万円の利益）となりました。

当社グループは、業績向上を目指して積極的な経営戦略を展開していく所存でございます。
皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基本方針

常に革新し
挑戦を続け
社会に貢献する

連結決算ハイライト

○連結売上高	11,375 百万円		
第67期第2四半期	第64期	第65期	第66期
	17,982 百万円	23,115 百万円	23,475 百万円
第2四半期	8,690 百万円	10,813 百万円	11,467 百万円

○連結営業利益	264 百万円		
第67期第2四半期	第64期	第65期	第66期
	140 百万円	1,630 百万円	1,306 百万円
第2四半期	34 百万円	655 百万円	876 百万円

○連結経常損益	237 百万円		
第67期第2四半期	第64期	第65期	第66期
	715 百万円	2,014 百万円	1,354 百万円
第2四半期	△187 百万円	901 百万円	928 百万円

○連結親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益	0 百万円		
第67期第2四半期	第64期	第65期	第66期
	261 百万円	2,399 百万円	2,684 百万円
第2四半期	△317 百万円	591 百万円	2,443 百万円

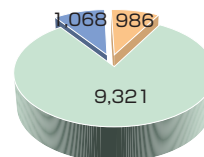
○連結総資産額	31,780 百万円		
第67期第2四半期	第64期	第65期	第66期
	27,363 百万円	32,953 百万円	32,027 百万円

○連結純資産額	24,723 百万円		
第67期第2四半期	第64期	第65期	第66期
	19,170 百万円	21,446 百万円	25,061 百万円

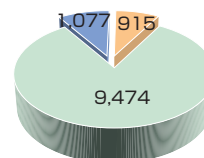
第2四半期事業別セグメント売上高 (百万円)

情報画像関連機器事業 (緑) 情報サービス事業 (青) 不動産賃貸事業ならびにその他の事業 (オレンジ)

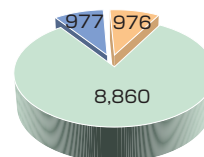
・第67期 **11,375** 百万円



・第66期 **11,467** 百万円



・第65期 **10,813** 百万円



通期の業績予想

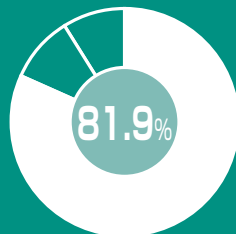
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	26,000	1,300	1,350	850 (平成27年5月15日公表値)

単位：百万円

第3四半期連結会計期間以降、新製品の販売が本格化するものの、中国をはじめとするアジア諸国の景気減速の拡大など世界経済は先行き不透明な状況が続いており、業績に影響する不安定要素が多く、合理的に業績を予想することが難しくなっております。このため、通期業績予想につきましては、当面平成27年5月15日の公表値を据え置くことといたしますが、今後種々の要素が明確になり、業績予想に変更の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

事業セグメントの概況

情報画像関連 機器事業



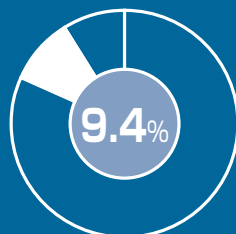
売上高
9,321百万円

アジア地域においては、大判インクジェットプリンタの販売は堅調に推移したものの、3Dプリンタのパーソナルタイプの価格競争の激化に加え、開発投資の増加の影響から、売上高は40億8百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント損失は34百万円（前年同期は4億21百万円の利益）となりました。

北アメリカ地域においては、積極的な販売活動による好調な販売に加え、アメリカ経済の回復と為替の円安効果により、売上高は21億64百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益は2億6百万円（前年同期比51.2%増）となりました。

ヨーロッパ地域においては、為替の円高による影響とトルコを含む東欧地域の政情不安等による販売の減少により、売上高は31億48百万円（前年同期比11.5%減）、セグメント利益は1億62百万円（前年同期比54.5%減）となりました。

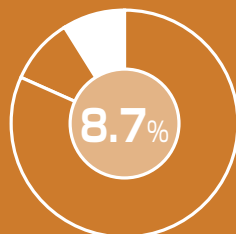
情報サービス 事業



売上高
1,068百万円

情報サービス事業においては、既存事業（CAD事業・システムソリューションサービス事業）の販売は、若干の減少はあるもののほぼ前年並みに推移しましたが、前年に立ち上げた3Dソリューション事業にかかる費用の増加などの影響により、売上高は10億68百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は18百万円（前年同期比65.2%減）となりました。

不動産賃貸事業 ならびに その他の事業



売上高
986百万円

不動産賃貸事業においては、一部不動産の自社グループ利用への変更に伴い売上高は減少したものの、稼働率の向上により、売上高は1億27百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は99百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

その他の事業においては、販売活動を積極的に推進いたしました。円安による仕入れ価格の上昇の影響を強く受けたため、売上高は8億58百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント損失は44百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

自社開発高速デュアルヘッド搭載 パーソナル3Dプリンタ『MF-2200D』を発売

『MF-2200D』は、MUTOH自社開発の高速デュアルヘッド搭載に合わせ、構造・駆動系を一新しました。エンジニアリング、工学・美術教育、キャラクター造形、プロダクトデザイン、プレゼンテーション等…、大きく広がる3Dプリントの世界をご実感ください。



- ◆MUTOH自社開発の2つのヘッドを個別に制御するデュアルキャリッジ方式
- ◆ワイドな造形エリアに2色造形で多彩な3D表現が可能
(使用材料：ABS/PLA/SB/PVA)
- ◆日本語対応ソフトウェアを標準装備
- ◆MFシリーズ専用カスタマーセンターで安心サポート



パーソナル3Dプリンタ
『MF-2200D』

3Dエンタテインメント 『Value 3D Figure World』を展開



株式会社ムトーフィギュアワールドでは、**自分の顔を5秒で高速スキャン、100種類以上の衣装や髪形を組み合わせで“いろんな自分を楽しめる”**着せ替え3Dフィギュアプリントサービスのチェーン加盟店の募集を開始しました。

東京スカイツリー4F東武百貨店内などの常設店の他、全国各地での特設イベントを開催しております。常設店やイベント開催の情報は下記HPにてご確認ください。
<http://www.mutoh-figureworld.co.jp/event/index.html>



東京スカイツリー4F東武百貨店内
ムトーフィギュアワールド常設店
営業時間 10:00~21:00

薄型防滴仕様 屋外用大型LED看板『MSBシリーズ』誕生

『MSBシリーズ』は、A2からB0を超えるビッグサイズ(1,284×1,984mm)までフリーサイズで対応可能なLED導光板式掲示板で、フレーム色やLED色温度などもオーダーメイドいたします。

- ◆薄さ30mm：直付け可能
突起もなく電源を内蔵しつつも、業界TOPクラスの30mmの薄さを実現
- ◆均一発光：発光均一度80%以上
特許技術のグラデーション印刷で、表面照度3,000lxを実現
- ◆高メンテナンス性：有期部品の「交換」ができるためトータルコスト低減可能
メディアの他に、電源・LEDなどの部品も容易に交換が可能



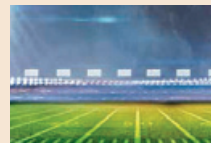
『MSBシリーズ』
駅通路取付けイメージ



商業施設の案内板



駅内広告看板



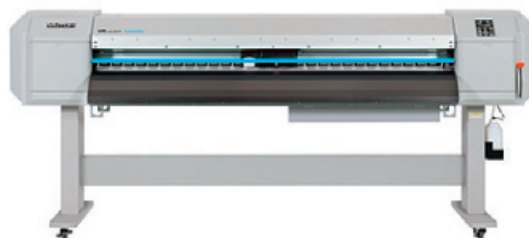
スタジアム内広告看板

大判インクジェットプリンタ『ValueJet シリーズ』 “X”モデルのラインアップを拡充、新製品6機種を発売

大判インクジェットプリンタの主力機種『ValueJet シリーズ』における“X”モデルのラインアップを大幅に拡充、新製品6機種の発売を開始しました。
 主な特徴として、メディアの厚みで変わるインク着弾位置を自動補正する「ドロップマスター技術」を搭載、その他にも「新プリントモードの追加」、「印刷補正ツールの機能向上」など従来機種と比べコストパフォーマンスが大幅にアップしました。



〔VJ-1624X〕



〔VJ-1938WX〕

【主な特徴】

◆ドロップマスター技術を搭載

ドロップマスター技術は、メディアに依存する煩わしい調整作業を軽減するMUTOHの革新的な自動化印刷技術です。
 双方向印刷での用紙厚に応じたインク吐出タイミングの自動補正機能で、印刷調整にかかる時間の節約、および画質の鮮明度、滑らかさを増す効果があります。

◆新プリントモードの追加

高速印刷と発色に必要なインク量を両立させた360×1,080dpi / 3パス（カスタム）モードを追加

◆印刷補正ツールの機能向上

- ✓ 双方向印刷補正と用紙送り補正パターンを変更し、調整時の作業効率が大幅に向上
- ✓ ステータスマニタ（VSM）の下記機能に対応
 印刷履歴閲覧 / 統計情報 / コスト情報
- ✓ ヒーターコントロール機能に対応（VJ-1624X）
 各ヒーター（プリ／プラテン／アフター）を総括制御し、メディアの波うちの抑制、作画開始時間の短縮となる制御モードを追加

【“X”モデル新製品：6機種】

エコソルベント（低溶剤）プリンタ

VJ-628X	630mm幅
VJ-1324X	1,300mm幅
VJ-1624X	1,600mm幅
VJ-2638X	2,600mm幅 / 2ヘッド

昇華転写プリンタ

VJ-1624WX	1,600mm幅
VJ-1938WX	1,900mm幅 / 2ヘッド

エンジニアリングプラスチック出力が可能な大型樹脂溶解積層式3Dプリンタ 『Value 3D Resinoid MR-5000』を発売

新開発「タフヘッド」の搭載により300℃での連続運転を実現し、
エンジニアリングプラスチック出力を可能にした大型樹脂溶解積層式3Dプリンタを、
9月に発売いたしました。

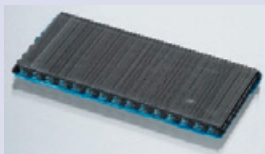
『Value 3D Resinoid MR-5000』は、500mm角の大型造形に対応し、
大型造形出力に合わせサーボモーターを採用したことで、高精度・高速造形を実現しています。

さらに、デュアルヘッドを使い、2種のエンジニアリングプラスチックをBi-Matrix構造で複合
化することを実現しました。

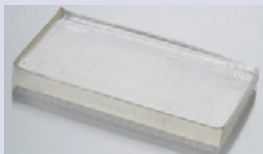
これにより、従来実現できなかった物性を持つ新素材の作成が可能となりました。

新たな素材を生み出す「Bi-Matrix構造造形」

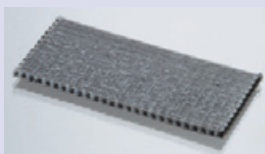
MUTOH独自開発となる「Bi-Matrix構造造形」は、複数の樹脂材を個別
に吐出することで、Main-Matrix樹脂とSub-Matrix樹脂の両特性を持ち
合わせた構造体を作成する造形手法です。



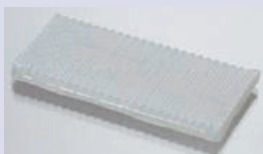
ABS+エラストマー構造体



PC+エポキシ構造体



ナイロン+エラストマー構造体



ナイロン+エポキシ構造体



Value 3D Resinoid MR-5000

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末	科目	期別	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
		平成27年9月30日現在	平成26年9月30日現在	平成27年3月31日現在			平成27年9月30日現在	平成26年9月30日現在	平成27年3月31日現在
資産の部					負債の部				
流動資産		19,542	21,432	20,563	流動負債		5,295	6,246	5,179
現金及び預金		8,619	9,862	8,597	支払手形及び買掛金		3,156	4,038	3,036
受取手形及び売掛金		3,729	3,759	4,295	その他		2,139	2,207	2,142
たな卸資産		5,923	5,923	5,533	固定負債		1,761	2,131	1,787
その他		1,268	1,887	2,137	退職給付に係る負債		1,272	1,608	1,277
固定資産		12,238	11,626	11,463	その他		489	522	509
有形固定資産		9,023	8,398	8,395	負債合計		7,057	8,377	6,966
無形固定資産		316	174	197	純資産の部				
投資その他の資産		2,899	3,053	2,870	株主資本		24,883	24,970	25,206
投資有価証券		2,389	2,484	2,328	資本金		10,199	10,199	10,199
その他		509	568	541	資本剰余金		4,182	4,182	4,182
資産合計		31,780	33,059	32,027	利益剰余金		12,845	12,925	13,165
					自己株式		△ 2,342	△ 2,336	△ 2,340
					その他の包括利益累計額		△ 986	△ 1,183	△ 1,036
					非支配株主持分		825	895	890
					純資産合計		24,723	24,682	25,061
					負債・純資産合計		31,780	33,059	32,027

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高		11,375	11,467	23,475
営業利益		264	876	1,306
経常利益		237	928	1,354
税金等調整前四半期(当期)純利益		336	3,696	4,119
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		0	2,443	2,684

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

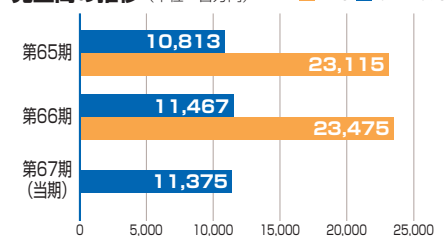
(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,386	377	△ 487
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,297	△ 157	△ 477
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 382	△ 106	△ 120
現金及び現金同等物の増減額		△ 247	132	△ 1,133
現金及び現金同等物の期首残高		8,597	9,730	9,730
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		8,349	9,862	8,597

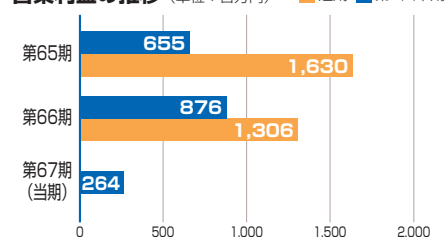
■ 事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・ムトーベルギー社・ムトーノースヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーアメリカ社・武藤工業香港有限公司・ムトーシンガポール社・ムトーオーストラリア社・(株)ムトーエンジニアリング
情報サービス事業	ムトーアイテックス(株)・(株)ムトーエンジニアリング・(株)ムトーフィギュアワールド
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株)・(株)ムトーエンジニアリング・(株)ムトーエンタープライズ
その他の事業	(株)ムトーエンジニアリング (株)ムトーエンタープライズ

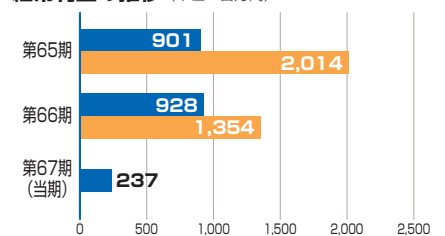
売上高の推移 (単位：百万円)



営業利益の推移 (単位：百万円)

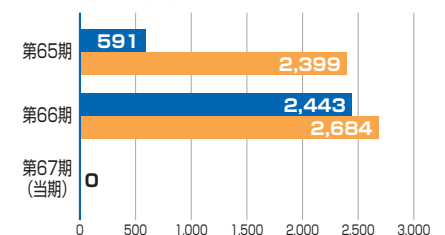


経常利益の推移 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する

当期純利益の推移 (単位：百万円)



会社の概要 (平成27年9月30日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)
設立 1952年(昭和27年)3月5日
(創業:1942年(昭和17年)12月)
資本金 101億99百万円

本社事務所 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号
TEL:03-6758-7100(代)
主な事業内容 グループ会社の経営管理および資産管理
ホームページ <http://www.mutoh-hd.co.jp>

MUTOHグループ会社



役員 (平成27年9月30日現在)

取締役会長	高山允伯	取締役	竹田晶信	取締役監査等委員	立沢肇
代表取締役社長	早川信正	取締役	坂本俊弘	取締役監査等委員	鴨居和之
常務取締役	阿部要一	取締役	高山芳之	取締役監査等委員	飛田博
常務取締役	青木久佳	取締役	馬場芳彦		

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 170,000,000株
- 発行済株式総数 54,818,180株
- 1単元の株式数 1,000株
- 株主数 6,372名

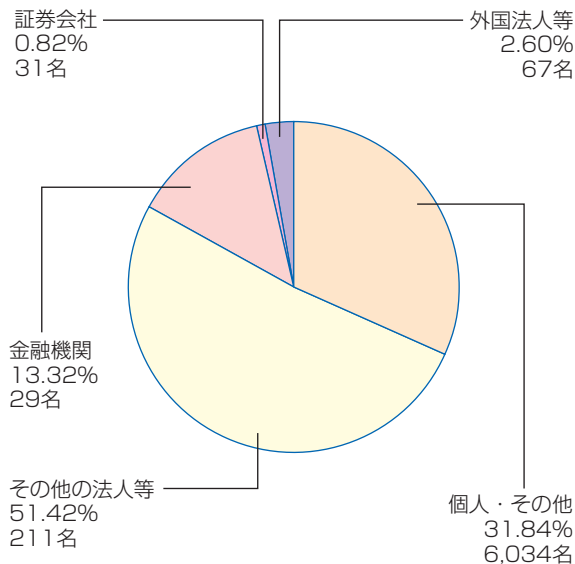
■ 大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,220,000	28.81
株式会社みずほ銀行	2,071,399	4.51
武藤栄次	1,580,586	3.44
三井住友信託銀行株式会社	1,457,000	3.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,073,000	2.34
ユニシステム株式会社	923,000	2.01
エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社	712,000	1.55
堀啓一	591,000	1.29
ハイテクシステム株式会社	541,000	1.18
シグマトロン株式会社	444,000	0.97

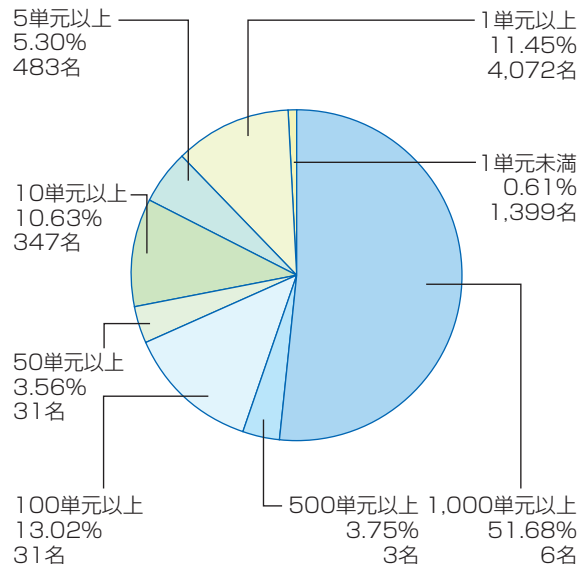
(注) 1. 当社は自己株式8,929,150株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆所有者別分布状況



◆所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金
受領株主確定日 毎年9月30日

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載
<http://www.mutoh-hd.co.jp>

※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

ご注意

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

この冊子は、環境にやさしい「FSC認証紙」「植物油インキ」を使用し、印刷工程で有機溶剤等を使わない「水なし印刷」を採用して印刷し、針金を使わずに製本しています。



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

